

平成21年度入学試験問題（推薦入学Ⅱ）

小論文

法文学部 国際言語文化学科 英語文化専攻（昼間主コース）

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

北京オリンピックに向けて中国は、多額の資金を投じて選手育成をした。それを反映するかのよう、中国は前回のアテネオリンピックの 32 個を大きく超える 51 個の金メダルを獲得、アメリカの 36 個をしのぎ、世界第 1 位であった。メダル獲得総数においても、アテネオリンピックの 63 個をはるかに超える 100 個を獲得し、アメリカに次いで第 2 位であった。

アテネオリンピックにおいて、金メダル獲得数、メダル獲得総数ともに第 10 位であったイギリスもその後、中国同様選手育成に多額の投資を行い、北京オリンピックでは順位を大幅に上げ、両部門において第 4 位であった。地元開催のロンドンオリンピックに向けては投資のさらなる増額が予想されている。

このように、国家が金メダル獲得数やメダル獲得総数を増やす目的で投資を行うことにあなたは賛成ですか、それとも反対ですか。メダルは、国あるいは国民にとって何を意味するかを考察しながら、あなたの意見を 1000 字～1200 字で述べなさい。